



【校訓】明るく かしこく たくましく

学校教育目標：主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成

～志合わせて夢実現プロジェクト～

先日の授業参観及び学級懇談会には、ご多用の中に来校していただきありがとうございました。

さて、合志市では教育の分野の取組として、令和2年3月から「志合わせて夢実現プロジェクト」を掲げています。これは、子ども、保護者、学校、地域、行政が一体となり、未来を切り拓くためのプロジェクトで、子どもたちが自分らしく学び、自信を育むとともに、地域との連携を通じて豊かな人間性を育むことを目指しています。この「志合わせて夢実現プロジェクト」には、5つの提言があります。その内の4つ「Myプロジェクト」「Homeプロジェクト」「Schoolプロジェクト」「Communityプロジェクト」を紹介します(詳しくは、合志市ホームページをご覧ください)。

子どもたちの進級、そして中学進学を控えた今、この夢プロジェクトを再確認して、今後も子どもたちや保護者さん、地域の皆さんと同じ方向を見ながら、子どもたちのより良い成長を支えていきたいと思えます。

提言1 子どもたちによる「志合わせて夢実現」Myプロジェクト



☆児童会や生徒会を中心に子どもたち自身が取り組んで下さい。

朝は自分で起きましよう	朝食を食べましよう	自ら学びましよう
<ul style="list-style-type: none"> ○大切なのは「起こされる」から「自分で起きる」という成長です。 ○自然と目が覚めるようになるためには「よい睡眠」が必要です。早寝早起きの習慣が重要です。 ○起きたらすぐに「光を浴びること」「洗顔をすること」「トイレに行くこと」を大切にしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の食事はとても大切です。必ず何か食べ物を口に入れましよう。 ○朝食は「用意してもらう」から、「自分で用意できる」ようになることこそ成長です。 ○炭水化物と水分の摂取は、最も大切です。食べた後のトイレ習慣も心がけて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分から進んで学ぼうとする姿勢が最も大切です。本や新聞を読んだりして必要な情報に触れることを心がけましよう。 ○「計画無き者に実践なし」自分で作った計画をもとに毎日、決めた場所で決めた時間、学習に取り組ましよう。
<p>自分で布団から出ることは「自律」の第一歩です。どうやったらうまく起きられるか工夫が必要です。前日の夜、寝るまでにどう過ごすがとても大事です。</p> <p>また、起きてすぐの洗顔や朝日を浴びることで体内時計を整えましよう。身体の調子を整えることに役立ちます。</p>	<p>朝食をとることは、食育の視点からも最も重要な要素で、健康で安全な生活をおくるためにしっかりと認識する必要があります。</p> <p>学校の給食はお昼過ぎになります。食べてこないといと血糖値が下がり、集中力がなくなり、学習効果も低下します。何をどれだけ食べるかにもこだわりたいものです。</p>	<p>学習に対する関心意欲のもとになるのは学習に対する準備です。最も効果があるとされている家庭学習は予習です。授業の前に自分で取り組んでおくことや読書活動など取り組むことは関心意欲の向上だけでなく、生涯学習の基礎(主体的学習習慣形成)づくりにもつながります。</p>

提言2 家庭生活における「志合わせて夢実現」Homeプロジェクト



☆PTAを中心に家族みんなで取り組んで下さい。

先に挨拶と返事の「ハイッ」に取り組ましよう	役割作りこそ居場所作りです みんなで家事を分業ましよう	心を傾けたノーメディア会話を大切にましよう
<ul style="list-style-type: none"> ○自分から先に声をかけ、目を見て笑顔を見せてからお辞儀をましよう。いつもの「おはようございます」、「おやすみなさい」、「いってきます」、「ただいま」などを大事にましよう。 ○名前を呼ばれたら笑顔の「ハイッ!」を習慣にましよう。 ○大切にしたい言葉です。「ありがとう」と「ごめんなさい」 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のことだけでなく、家族みんなの役に立つことを家族みんなで行なましよう。 ○風呂掃除・トイレ掃除・食事のあとかたづけなど複数取り組んだり、当番制にしたりましよう。 ○成長に合わせて家事の内容も充実させましよう。 ○家族の代表として地域の活動に参加するのも大切な家事です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく家族揃って食事をましよう。たまには、TVを消し、学校での出来事を話ましよう。 ○学校からの連絡やお便り、広報や回覧板など家族みんなで見ましよう。 ○携帯・スマホ・インターネット利用のルールを徹底し、ネット依存や様々なインターネット関係の被害から家族を守りましよう。
<p>人と関わり合って生きるとき、基本ともいうべきものが挨拶・返事です。自分から先に声をかけ、目を合せて、笑顔の挨拶ができていくかしっかりと確認して下さい。まずは、家庭や学校で丁寧に実践したいものです。また、「はい」をうまく使うことこそコミュニケーション能力獲得の重要な要素です。</p>	<p>家庭も小さな社会です。自分の居場所を作るためには「自分の役割」が必要です。「自分のことは自分でする」だけでなく、誰かの役に立つことをして喜ばれることこそが人を成長させます。「机に座っている」だけ、「成績さえ上げれば」では、「本当の学び」ができずに「生きる力」は身につけません。</p>	<p>うれしかったこと、悲しかったこと、腹が立ったこと、どんな小さなことでもかまいません、目を合せて何でも聞いてやるのが大切です。また、地域や学校から出されている文書は、とても重要なものや提出期限があるものもあります。家族みんなで毎日確認する習慣を作りましよう。</p>

提言3 学校における「志合わせて夢実現」Schoolプロジェクト



☆校長先生を中心に先生方皆さんで取り組んで下さい。

小中一貫教育の柱として、 具体的な実践を積み重ねましょう	規範意識の醸成と豊かな心 の指導を大切にしましょう	生涯学習の基盤となる主体的 学習習慣の習得を進めましょう
<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの中学校区でグランドデザインをもとに小中で一貫した具体的実践を実施しましょう。基本的教室設営・無言掃除・黙想・先語後礼のあいさつ等 ○全ての指導においてチーム実践を進めていきましょう。全校集会・学年集会等の活用 ○学校生活ノートや生活記録カードやキャリアパスポートなどを用いた生活習慣獲得に取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方だけでなく、児童会や生徒会活動などを活発にして、学校から「いじめや差別、暴力や暴言」をなくしましょう。 ○各学年あるいは学校全体で朝夕の会、給食、掃除といった日常的な活動(隠れたカリキュラム)もていねいに見直し、毎週の道徳授業を要として心の教育に取り組みましょう。 ○青少年赤十字活動を推進して生きる力を伸ばしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の学習相談・進路相談を定期的実施し、子どもたちの学習に対する関心や意欲をのばしましょう。 ○授業では「個」の学習場面と「協働」の学習場面をきちんと設定しましょう。 ○子どもたちが課題を持って授業に参加できるよう家庭学習(段階的に予習重視の宿題)や地域学習(体験)を積極的に推進しましょう。
<p>中学校を卒業するとき、子どもたちに職業人、家庭人、地域人としての「準備と覚悟」ができた姿を実現することこそ、教育基本法でいうところの「人格の完成」にほかなりません。そのためには、一人一人の子どもたちの発達段階を考慮しつつ、「自己実現のために自分でできることがあることに気づかせ、継続させる」ことを徹底しましょう。</p>	<p>全ての教育活動の根底に人権教育と特別支援教育の視点を持ち、常にキャリア教育と道徳教育の面からもその実践を確かめていく必要があります。「全ての教育活動を通して」とはまず先生方に認識、意識されない限り、子どもたちの「自己肯定感」の醸成にはつながりません。自ら「気づき、考え、実行できる」子どもたちの育成を図りましょう。</p>	<p>すでに生じている個人差や苦手意識などは、子ども一人一人に個別の対応が必要です。個人面談や教育相談などを活用しましょう。また、予習や宿題の徹底は、子どもたちのやる気をのばすのに最も効果的です。中学校卒業時には、物事に対してしっかりと準備(予習)をして取り組む習慣を獲得してほしいものです。</p>

提言4 地域における「志合わせて夢実現」Communityプロジェクト



☆地域の方々みんなで地域学校協働活動を推進しましょう。

「見とってはいよ」 子どもたちやお年寄りなどの地域での見守りに心がけましょう	「言うてきてはいよ」 情報交換による信頼関係・地域作りを進めましょう	「一緒にやりまっしょい」 子どもたちに人生の先輩の姿を見せてやりましょう
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちやお年寄りなどの様子に目を向け、地域全体のごとに関心を向けて下さい。 ○地域の安全確保には危険の発見・予見が重要です。一人一人が「防犯カメラ」の役割を担いましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や行政が地域の方からの確かな情報を知ることは学校づくり、地域づくりの出発点となります。皆さんが持っている情報をそのままにせず、なるべく早く誰かに伝えるようにしましょう。 ○電話やメールも活用できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校や地域には皆さまが参加できる行事やイベントがたくさんあります。各種のおたよりや広報、回覧板などでお知らせしますのでご家族、ご近所みんなで参加しましょう。「できるときにできるだけ」が合い言葉です。
<p>マザーテレサの言葉に「愛情の反対は、憎しみではない。それは、無関心である」という言葉があります。合志市の住みよさは、人と人の確かな思いやりのあるつながりであることをみんなで大切にしましょう。「ちょっとお節介」で「お人好し」な人が「ふるさと」を支えてくれているのです。ぜひあなたもその一人になって下さい。</p>	<p>こんなことを言ったら苦情だと思われたとか、どうせ変わらないからといって何もしないでいると住みよい地域にはなりません。ぜひ学校や行政、自治会等に情報を下さい。寄せられた情報を大切に一緒に「未来の合志市」づくりを進めていきましょう。直接は、いいにくいことでも電話や手紙・メールなど様々な方法でご協力下さい。</p>	<p>学校や地域の行事のなかには長年にわたって受け継がれているものもあります。この時代で失われまいとみんなの協力で次の時代に残していきましょう。また、私たちは熊本地震を経験し、災害発生時に大切にしなければならぬものの一つとして「共助」の存在に気づいたはずで、次の時代へのパトリーに参加して下さい。</p>